

信州大学

平成 28 年度学生募集要項

経法学部推薦入試



2016年4月 信州大学

経済学部 は
経法学部

に生まれ変わります



SHINSHU
UNIVERSITY

経法

Faculty of Economics and Law 2016

経済学と法学を専門の軸とする
斬新な教育手法を取り入れた新学部誕生



信州大学経法学部

応用経済学科

Department of Applied Economics

総合法律学科

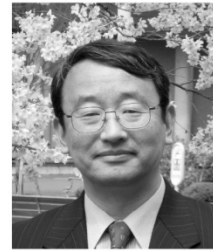
Department of Law

「経法学部」誕生に向けたご挨拶

信州大学経済学部は、2016年4月から新たに「経法学部」に生まれ変わります。新学部は、経済学を中心に学ぶ応用経済学科と、法学を中心に学ぶ総合法律学科で構成されます。経済学と法学を2本の専門の軸とした学部という意味で、2つの専門名称を接合した「経法学部」という名称を使います。学部名称は比較的オーソドックスですが、新学部では斬新な教育内容を数多く取り入れました。これまでの経済学部の良き伝統を引き継ぎつつも、斬新な教育内容を展開するために新しい分野の教員を数多く採用しています。

これから大学に入学する皆さんが社会人として活躍し始める頃、既に始まった人口減少は日本の社会と経済に大きな影響を与え始めていることでしょう。そうしたなかで、各地域では都市の活力をいかにして維持し、医療を含めた社会保障の基盤をどのように維持していくかが差し迫った課題になります。また、国内マーケットと労働力供給の縮小に直面する企業活動は益々国際展開を迫られ、それと同時に多様な人材を企業活動に活かす努力が求められます。そうした課題を見据えて、各学科にそれぞれ3つのコースを設けました。本学部に入学者は、2年生までに、幅広い教養と、経済学または法学の基礎を身に付けた後、3年生からコースに分かれてさらに専門的な勉強をすることになります。

志ある皆さんが信州大学経法学部に入学者、これからの日本の社会と組織が直面する課題を切り開く能力を身に付けて、社会で活躍して下さることを願っています。



「経法学部」設置準備委員長
徳井 丞次 信州大学経済学部長

カリキュラム・コンセプト Curriculum Concept

- 採用したい人物像
- 現場で求められる能力
- 身につけておくべき知識

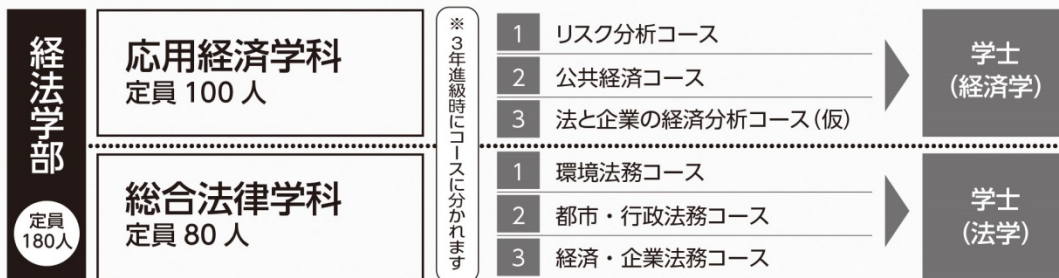
長野県庁、長野県下・近隣市町村、財務省、経済産業省、法務省、金融系企業、国際系企業、製造業、環境関連企業、NPO など

行政や企業の採用担当者
80名以上にヒアリング

社会から求められる能力を身につけるカリキュラム



学科・コース・授与学位



推薦募集要項は次のページからです

信州大学のアドミッション・ポリシー

1 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探究し解決する能力を備えた人材を育成します。

また、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てます。

信州大学は、このような教育の理念・目標を実現するために、以下のような資質を備えた人々を積極的に受け入れます。

- ・ 人間と自然を愛し、人との出会いを通じて学び合おうとする人
- ・ 知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人
- ・ 多様性を理解し受け入れ、独自性を大切にすること
- ・ 社会・環境・国際問題に関心を持ち、世界に貢献したいと考える人

2 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各学部の特性に応じた適切な方法で多様な入試を実施し、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、選抜します。

経法学部のアドミッション・ポリシー

理念

信州大学経法学部は、よりよい社会を作るという社会科学の基本に基づいて、経済学および法学の領域で、制度設計の視点から政策の提案や運営に、研究・教育の両面で貢献することを基本理念としています。この基本理念のもとで、信州大学経法学部は、経済学または法学を体系的に修得した上で、身に付けた専門性を現代社会のさまざまな課題の現場で発揮し、課題解決のために能動的に貢献できる人材を養成するために研究・教育を実践しています。

教育目標

信州大学経法学部は、応用経済学科、総合法律学科の両学科で、次の3つを共通する教育目標としています。

- 1) 現代社会が抱える課題に対して、社会科学の専門性を軸足とする解決方法を提案し、自然科学と協働しながら課題解決に導くことができる力を身に付けること。
- 2) 経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身に付け、それを発揮できる力を育てること。
- 3) 社会資源の制約の中で解決方法を見出す能力、多様な価値観の中で対立を回避する危機管理能力を応用力として身に付け、それを発揮できる力を育てること。

この教育目標を実現するために、信州大学経法学部は、次の3つの柱からなる特徴的な教育課程を用意しています。

- 1) 体系的な社会科学の専門教育
- 2) 社会的課題に対応した学際教育
- 3) 課題解決に繋がる実践的教育

教育課程を通じて応用・実践的な能力を涵養するために、信州大学経法学部は、社会の課題現場に対応したコース制を両学科に設けています。

それぞれのコースで、社会的課題に見合った専門知識の応用のしかたを身に付け、分析手法の実践を積み重ね、隣接領域科学や理系の専門家と協力しながら課題解決にいたるプロセスを体験しながら学びます。

求める学生像

信州大学経法学部では、次のような意欲を持った人々を積極的に受け入れます。

- 1) 人口減少、高齢化の進展など、地域が直面する具体的な課題について問題意識を抱き、その解決に取り組む強い意欲を持つ人
- 2) 現在社会が直面する様々な不確実性、リスク、価値観や意見の違い、紛争、多様性などにひるまず、これらに積極的に立ち向かうチャレンジ精神を持った人
- 3) 問題解決に際して、冷静で論理立った考察や、事実の観察、データの分析に基づいて思考できる資質を持つ人
- 4) 幅広い視野を持ち、様々な学問領域で生み出された成果や研究方法を総合的に取り入れながら真理を探究する姿勢を備えた人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

資料を読み解き、考えを表現するとともに他者との円滑なコミュニケーションを図るために、一定の読書量を通して国語の能力を十分身につけておくことが必要です。同様な意味で、国内にとどまらない活動のために、英語の能力も必要とされます。

数学は、論理的思考の基礎ともなる科目ですので、基本的な内容とその応用力を身につけてください。特に、応用経済学科では経済現象の数理的解析のために必要です。

また、新聞・ニュース報道等に積極的に接し、経法学部が対象としている社会の諸問題に関心を持つとともに、これらを探究するための基礎としての科目、例えば地理歴史・公民なども学んでおいてください。

— 目 次 —

1	募集人員	1
2	出願資格及び推薦要件	1
3	出願手続	3
4	入学者選抜方法	5
5	選抜期日及び試験場	5
6	合格者の発表	5
7	入学手続	6
8	一般入試への出願	6
9	障害がある方の事前相談	7
10	個人情報の利用	8
11	入試情報の開示	8
12	教育職員免許状	9
13	その他	9

巻末参考資料

- 資料1 実績証明書類提出時の注意点
- 資料2 志願票（ワープロ用）〔記入例〕
- 資料3 自己申告書（ワープロ用）〔記入例〕
- 資料4 推薦書〔記入例〕
- 資料5 入学検定料納付確認書等〔記入例〕
- 資料6 入試情報開示請求書〔記入例〕
- 資料7 アクセスマップ

【添付書類】

志願票	実績証明書等添付用紙
自己申告書	入試情報開示請求書
受験票・写真票	受験票等送付用封筒
推薦書	出願書類送付用封筒
入学検定料納付確認書等	

※ 経法学部の推薦入試に関する情報は、信州大学経済学部ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>

にも掲載しています。

1 募集人員

応用経済学科 一般推薦	17 人
特別推薦（商業に関する学科等）	3 人
総合法律学科	10 人

※推薦入学の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試前期日程の募集人員に加えます。

2 出願資格及び推薦要件

(1) 出願資格

高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含みます。以下単に「高等学校」といいます。特別推薦は商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上）を卒業した方又は平成 28 年 3 月 31 日までに卒業見込みの方で、以下の推薦要件を満たすものと学校長が認めて推薦し、合格した場合には入学を確約できる方とします。

(2) 推薦要件

① 応用経済学科の推薦要件

ア 一般推薦

大学での経済学の勉学を前提とした明確な将来志望を持ち、例えば、企業組織等のリーダーとして活躍すること、行政組織の中で公共政策の立案運営にたずさわること、また、こうした分野で国際的に活躍することなどを目指す方で、本学部で修学するのに必要な基礎学力と積極的な勉学姿勢を有し、かつ次の（経 a）～（経 f）の一つ以上に該当する方

- (経 a) 学業成績が優秀な方（全体の評定平均値 4.0 以上）。ただし、商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上）を卒業又は卒業見込みの方を除きます。
- (経 b) スポーツの全国レベル等の競技会に出場し、優秀な成績をおさめた方
 - ※1 団体競技の場合には、チーム内でどのような貢献をしたかが明記されること。
 - ※2 当該競技種目が、高校生の行うスポーツとしてどの程度定着したものであるかも判定の材料とする。
- (経 c) 芸術・文化の分野の全国レベルの発表会に出場し、優秀な成績をおさめた方
 - ※1 団体で行う発表等については、その中でどのような貢献をしたかが明記されること。
 - ※2 当該活動が、高校生の行う芸術・文化活動としてどの程度定着したものであるかも判定の材料とする。
- (経 d)
 - (1) （語学）実用英語技能検定準 1 級以上又はその他の外国語の検定試験等でこれと同等の成績（例えば、TOEFL-iBT 79 点以上、TOEFL-PBT 550 点以上、TOEIC 730 点以上など）
 - (2) （簿記）日商簿記検定 1 級又は全経簿記能力検定上級
 - (3) （情報処理）応用情報技術者（ソフトウェア開発技術者）以上
 - (4) 学業に関係の深いその他の資格・検定における上記と同等の成績
- (経 e) 継続した社会活動での顕著で具体的な実績があり、そのことで広く社会から高い評価を得ている方
 - ※1 団体で行う社会活動では、その中でどのような貢献をしたかが明記されること。
 - ※2 当該社会活動に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。

(経 f) その他上記に準ずるような実績や経験を有する方

※1 団体で行う活動等については、その中でどのような貢献をしたかが明記されること。

※2 その実績や経験に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。

ただし、商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上）を卒業又は卒業見込みの方で、特に学業成績が優秀な方は、以下の特別推薦に出願することができます。

イ 特別推薦（商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上））

(経商) 全体の評定平均値 4.3 以上、かつ次のいずれかの資格を取得している方

- ・日商簿記検定 2 級以上
- ・全商簿記実務検定 1 級
- ・基本情報技術者以上
- ・全商情報処理検定 ビジネス情報部門 1 級
- ・全商情報処理検定 プログラミング部門 1 級

② 総合法律学科の推薦要件

大学での法律学の勉学を前提とした明確な将来志望を持ち、例えば、企業組織等のリーダーとして活躍すること、行政組織の中で公共政策の立案運営にたずさわること、また、こうした分野で国際的に活躍することなどを目指す方で、本学部で修学するのに必要な基礎学力と積極的な勉学姿勢を有し、かつ次の（法 a）～（法 f）の一つ以上に該当する方

(法 a) 学業成績が優秀な方（全体の評定平均値 4.0 以上）

(法 b) スポーツの全国レベル等の競技会に出場し、優秀な成績をおさめた方

※1 団体競技の場合には、チーム内でどのような貢献をしたかが明記されること。

※2 当該競技種目が、高校生の行うスポーツとしてどの程度定着したものであるかも判定の材料とする。

(法 c) 芸術・文化の分野の全国レベルの発表会に出場し、優秀な成績をおさめた方

※1 団体で行う発表等については、その中でどのような貢献をしたかが明記されること。

※2 当該活動が、高校生の行う芸術・文化活動としてどの程度定着したものであるかも判定の材料とする。

(法 d) (1) (語学) 実用英語技能検定準 1 級以上又はその他の外国語の検定試験等でこれと同等の成績（例えば、TOEFL-iBT 79 点以上、TOEFL-PBT 550 点以上、TOEIC 730 点以上など）

(2) (簿記) 日商簿記検定 1 級又は全経簿記能力検定上級

(3) (情報処理) 応用情報技術者（ソフトウェア開発技術者）以上

(4) 学業に関係の深いその他の資格・検定における上記と同等の成績

(法 e) 継続した社会活動での顕著で具体的な実績があり、そのことで広く社会から高い評価を得ている方

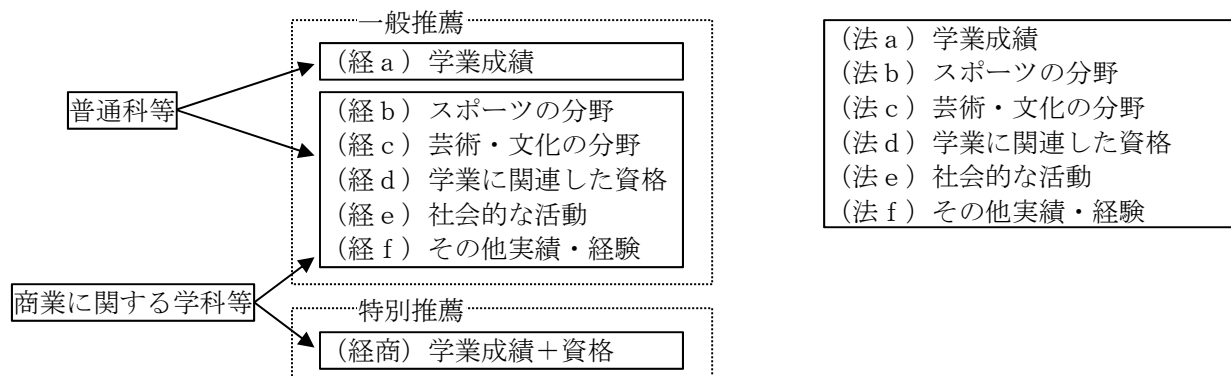
※1 団体で行う社会活動では、その中でどのような貢献をしたかが明記されること。

※2 当該社会活動に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。

(法 f) その他上記に準ずるような実績や経験を有する方

※1 団体で行う活動等については、その中でどのような貢献をしたかが明記されること。

※2 その実績や経験に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。



3 出願手続

(1) 出願期間

平成 27 年 11 月 2 日 (月) から同年 11 月 6 日 (金) まで (締切日の 17 時まで) に大学窓口に必着) 原則として郵送としますが、持参による受付は 8 時 30 分から 17 時までとします。ただし、11 月 3 日 (火) は受け付けません。

(2) 出願方法等

- ① 郵送による場合は、この募集要項に添付する封筒 [角形 2 号 (横 24cm×縦 33.2cm)] に出願書類等を一括して入れ、「書留速達郵便」で提出してください。また推薦学校長が取りまとめて提出する場合は、志願者各人の必要書類を指定の封筒に入れたうえ、当該学校の分を一括して提出してください。
- ② 出願手続を完了した方には、受験票及び面接等日時通知書を送付します。
- ③ 平成 27 年 11 月 18 日 (水) までに受験票及び面接等日時通知書が到着しない場合は、経済学部入試事務室まで問い合わせてください。

(3) 出願書類等提出先 (※「経法学部」書類等提出先)

信州大学経済学部入試事務室

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-3312

(4) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

出 願 書 類 等	摘 要
志 願 票 自 己 申 告 書 受 験 票 ・ 写 真 票	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。 受験票・写真票には出願前 3 か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真 (縦 4cm×横 3cm, 白黒・カラーは問いません。) を指定欄に貼ってください。検査場において不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。受験票, 写真票とも同じ写真を使用してください。[巻末参考資料 2, 3 参照]
推 薦 書	出身学校長がこの募集要項に添付する用紙により作成のうえ、厳封してください。[巻末参考資料 4 参照]
調 査 書	出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成のうえ、厳封してください。

実績証明書類	(経b)～(経f), (経商), (法b)～(法f)に該当する方, 又は高等学校を卒業した方は必ず提出してください。[巻末参考資料1参照]
入学検定料納付確認書 (A票)	<p>① 入学検定料 17,000 円をこの募集要項に添付する振込依頼書 (C 票) を使用して, 平成 27 年 10 月 26 日 (月) から同年 11 月 6 日 (金) までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。なお, 郵便局 (ゆうちょ銀行) からの振込みはできません。また, ATM (現金自動預支払機), 携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>② 振込み後, 納付確認書 (A 票) 及び領収書 (B 票) を受け取り, A 票, B 票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し, 納付確認書 (A 票) を提出してください [巻末参考資料5参照]。</p> <p>また, 「取扱金融機関収納印」欄に, 平成 27 年 11 月 6 日 (出願期間最終日) までの収納印があるものに限り有効となりますので, 特に出願期間最終日に振り込まれる場合には, 金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。</p> <p>③ 出願期間最終日に持参により提出する方で, 金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り, 現金による納付を受け付けます。</p>
受験票等送付用封筒	この募集要項に添付する封筒 [長形 3 号 (横 12cm×縦 23.5cm)] に入学志願者の郵便番号, 住所, 氏名を明記し, 372 円分の切手 (速達料を含む。) を貼ってください。

【出願書類等記入上の注意】

- ・黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
- ・誤って記入した場合は, 誤った箇所を二重線で消し, 訂正してください。

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学・学部 (独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。) の推薦入試 (大学入試センター試験を課す場合又は課さない場合を含めて) への出願は, 一つの大学・学部に限ります。
- ② 出願書類等に不備があるものは, 受理しません。
- ③ 受理した出願書類及び検定料は, どのような事由があってもお返しできません。なお, 検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合は, 本人の請求により納入された検定料 (二重に振り込んだ場合は重複して納入された分) の返還が可能です。返還手続については本学のホームページ (入試情報/学部入試/入学検定料返還手続) をご覧ください。 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)
- ④ 出願後の志望学科の変更は, 認めません。
- ⑤ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は, 入学許可を取り消します。
- ⑥ 出願書類等の提出後, 受信場所を変更した場合は, 直ちに経済学部入試事務室に届け出てください。
- ⑦ 「推薦書」は推薦学校長が作成してください。「自己申告書」は志願者本人が記入してください。

4 入学者選抜方法

- (1) 出願書類（調査書、推薦書、自己申告書、その他提出書類）の内容及び面接（口頭試問）の結果を総合して選抜します。大学入試センター試験を受験する必要はありません。
- (2) 面接（口頭試問）は、志願者の大学での学習に必要な基礎学力の有無を判断し、社会科学に対する適性や能力及び入学の熱意、その他を加味して判断するため、複数の本学部教員により志願者 1 人につき約 30 分間行います。

5 選抜期日及び試験場

各受験者の面接（口頭試問）日時は、平成 27 年 11 月 18 日（水）までに別途通知します。なお、受験番号と面接日・時間は関係ありません。受験番号が早くても面接順も早いとは限りませんので注意してください。

選抜期日	平成 27 年 11 月 21 日（土）又は 11 月 22 日（日）
試験場	信州大学経済学部（長野県松本市旭 3-1-1）[巻末参考資料 7 参照] JR 松本駅「お城口（東口）」を出て右前方「アリオ」1 階、松本バスターミナルのりば 1 の「信大横田循環線」又は「浅間線」に乗車、「大学西門」下車（所要時間 15 分）

6 合格者の発表

- (1) 平成 27 年 11 月 25 日（水）15 時に経済学部構内掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書及び入学手続書類を発送し、公式発表とします（不合格の方には通知しません）。

また、信州大学ホームページ（入試情報）にも合格者の受験番号を速報掲載しますが、必ず公式発表を確認してください。

なお、電話やメール等による可否の問い合わせには、応じられません。

信州大学ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

- (2) 合格者は、入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないまま放置することがないように、必ず入学手続期間内に手続を行ってください。

7 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学料を納入するとともに、原則として「書留速達郵便」により必要な書類を提出してください。詳細については、合格通知書に同封しお知らせしますので、必ずご覧ください。なお、合格者には入学するまでの間、課題の提出が要求されることがあります。

(1) 入学手続期間

平成 27 年 11 月 26 日（木）から同年 12 月 3 日（木）まで（締切日の 17 時までに大学窓口に必着）に、封筒の表に「入学手続書類在中」と朱書きし、次の書類提出先まで「書留速達郵便」で郵送してください。

※ 持参する場合の入学手続の受付時間は、8 時 30 分から 17 時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。

(2) 入学手続書類提出先（※「経法学部」書類提出先）

信州大学経済学部入試事務室 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-3312

(3) 納付金の納入等

① 初年度納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000 円

イ 授業料（前・後期）各 267,900 円 [年額 535,800 円]

（注）金額は平成 27 年 4 月現在のもので、入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）がありますので、希望される方は、合格通知書に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

(4) 手続に当たっての注意事項

① 定められた入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学部への入学を辞退したものと取り扱います。

② 特別の事情により入学を辞退する方は、「推薦入学辞退願（本学指定の様式）」を、推薦学校長を経て平成 28 年 2 月 17 日（水）までに「(2) 入学手続書類提出先」に提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。なお、許可がないと他の国公立大学の個別学力検査等を受験しても合格者にはなりません。

③ 本学部への入学手続を完了した方は、他の国公立大学を受験しても合格者にはなりません。

④ 入学手続完了者であっても、平成 28 年 3 月までに入学資格を満たすことができない方は、入学を許可しません。

8 一般入試への出願

推薦入試に不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試の前期日程及び後期日程並びに公立大学の中期日程に出願することができます。なお、本学部への出願を希望する方は、一般受験者と同様に大学入試センター試験の所定の教科・科目を受け、「平成 28 年度信州大学学生募集要項」（平成 27 年 11 月頃に公表予定）に従い出願手続を行い、本学部個別学力検査等を受験してください。

9 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本学に入学を志願する方で、障害（別表参照）等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、下記事項を記載した書面を提出してください。なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

※書面の様式は問いませんが、本学のホームページ（入試情報／学部入試／障害等のある方の事前相談）から申込様式をダウンロードいただけます。（<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>）

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 提出期限 平成 27 年 10 月 26 日（月）まで

(2) 書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願学部、学科等（学科名の後に「推薦」と記載してください。）
- ④ 障害等の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
- ⑤ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた修学上の配慮
- ⑧ 日常生活の状況

(3) 提出先

信州大学学務部入試課 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2192

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

〈別表〉

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

（参考：学校教育法施行令第 22 条の 3、発達障害者支援法第 2 条）

10 個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- (1) 入学手続
- (2) 学籍管理
- (3) 学習指導
- (4) 学生支援関係業務
- (5) 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、推薦入試の可否及び入学手続等に関する情報を、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

11 入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

開示方法： 信州大学経法学部ホームページ
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>

開示時期： 平成28年4月以降

(2) 個人情報

① 試験成績（面接結果）

② 調査書（客観的事実に係る記録部分のみを開示します。ただし、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」に係る記録部分を除きます。）

開示方法： ①の試験成績は、開示請求による郵送を原則とします。
②の調査書は、窓口での閲覧のみとします。

請求者： 原則として受験者本人とします。

請求方法： この募集要項に添付する「入試情報開示請求書」に所要事項を記入し、以下の開示請求先に郵送（又は持参）してください。

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学部の受験票を必ず添付してください。（コピー不可）

※ 試験成績の郵送を希望する場合は、返信用封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留料金を含む402円分の切手を貼ったもの〕を同封してください。

受付期間： 平成28年5月1日（日）～平成28年5月31日（火）

※ 郵送の場合は、5月31日までの消印有効

※ 持参の場合は、平日の8時30分から17時までとします。（土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）

開示時期： 平成28年7月中旬以降

開示請求先： 信州大学学務部入試課

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 電話 0263-37-3450

12 教育職員免許状

本学部では、教育職員免許状を取得することはできません。

13 その他

- (1) 受験の際は、必ず受験票を携行してください。
- (2) 面接（口頭試問）には、手元に何も携えない状態で臨んでください。
- (3) 受験票は、入学手続や入試情報開示請求の際も必要となりますので、それまで大切に保管してください。
- (4) 本学部におけるアクティブラーニング手法を導入した授業では、タッチパネル操作を前提とします。学生全員にタッチパネル操作可能なノートパソコンの所持を義務づけていますので、入学される方には、入学時に本学部が指定する性能を満たすタッチパネル操作可能なノートパソコンを準備していただきます。タッチパネル操作可能なノートパソコンの仕様等については、入学手続案内の送付の際にご案内します。
なお、既にタッチパネル操作可能なノートパソコンをお持ちの方については、必要な仕様の整備を各自で行っていただきます
- (5) 本学部に関する各種情報については、経済学部ホームページをご覧ください。
信州大学経済学部ホームページ <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>
- (6) 出願等について不明な点がある場合は、経済学部入試事務室（電話 0263-37-3312）に問い合わせてください。

実績証明書類提出時の注意点

実績証明書類は、以下の留意点に沿って作成したものを提出してください。

1. 推薦書の⑬に記入した実績のうち、最も評価してほしい項目について、付属の「実績証明書等添付用紙」を作成して提出してください。特に、推薦書の②で選択した推薦型に関する証明書を優先的に添付してください。
2. 大会実績や資格の証明書については、最高位の成績・出場証明書を添付してください。
例えば地区大会，県大会，全国大会と勝ち進んだ場合，全国大会の出場を証明する書類のみとしてください。実用英語検定 2 級と準 1 級を持っている場合，準 1 級の証明書のみとしてください。明確な優劣が付けられない場合には，自分が高評価とするものを選んでください。
3. 高等学校を卒業した方は，直近の予備校での模試の成績等を証明する書類を，別途提出してください。
4. 3 の書類を除き，実績証明書類は「実績証明書等添付用紙」に添付して提出してください。
テープ，ビデオ，その他の記録媒体による提出は行わないてください。ボランティアに参加した場合などの証明は，参加者名簿などの写しを添付してください。書類での提出が不可能と判断された場合には，別途ご連絡ください。
5. 実績証明書類は読める範囲内で縮小して貼り付けても構いません。

連絡先

信州大学経済学部入試事務室

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-3312

平成28年度信州大学経済学部推薦入試 志願票 (ワープロ用)

※1 志望学科	応用経済学科	<input type="checkbox"/> 一般推薦 <input type="checkbox"/> 特別推薦	総合法律学科	※2 受験番号	
志願者氏名	フリガナ シンシュウ タロウ (自筆) ※3	信州 太郎			性別
	昭和・平成 9 年 6 月 1 日生				男
受信場所	〒 123 - 4567				
	※4 長野県〇〇市〇〇1-2-3 電話 1234 - 56 - 7890 携帯電話 090 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
保護者住所・氏名	〒 456 - 7890				
	長野県〇〇市〇〇4-5-6 電話 456 - 789 - 0123 携帯電話 080 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
	フリガナ シンシュウ ジロウ	信州 次郎			
出願資格	学校名	信州大学附属信州高等			学校
	高等学校等コード (大学入試センター試験用)				9 9 9 9 9 A
	所在地	長野 都 道 ※5 府 県	〇〇市〇〇9-8-7		
	卒業期	平成 28 年 3 月 31 日 卒業・卒業見込 ※5			
出身学校	設置	※5	※5	1. 普通科 ※5	
		1. 国立	1. 全日制	2. 理数科	
	2. 公立	2. 定時制	3. 農業科		
	3. 私立	3. 通信制	4. 工業科		
			5. 商業科		
			6. 総合学科		
			7. その他 (科)		

記入上の注意

- ※1 志望学科 (応用経済学科を志望する方は、一般推薦・特別推薦の内いずれか) を囲み線で選択してください。
- ※2 記入しないでください。
- ※3 自筆で記入してください。
- ※4 本票提出後、郵便物の配達を受ける場所を詳細に記入してください。
- ※5 該当事項を囲み線で選択してください。

平成28年度信州大学経法学部推薦入試

自己申告書 (ワープロ用)

※受験番号	
①志望学科	1. 応用経済学科 <input type="checkbox"/> 一般推薦 <input type="checkbox"/> 特別推薦
	2. 総合法律学科

<記入上の注意>

- 必ず志願者本人が記入してください。
- ※印欄は記入しないでください。
- ①は志望学科 (応用経済学科を志望する方は、一般推薦・特別推薦の内いずれか) を囲み線で選択してください。
- ②は自筆で記入してください。

②志願者氏名	フリガナ シンシュウ タロウ	③性別	④生年月日
	(自筆) 信州 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 9 年 6 月 1 日生
⑤連絡先住所	〒 123 - 4567	電話 1234 - 56 - 7890	
	長野県〇〇市〇〇1-2-3		
⑥出身学校	(長野) 都道府県 (国) 立 (信州大学附属信州高等) 学校		
⑦卒業期	平成 28 年 3 月 31 日 卒業・卒業見込		
⑧あなたが高校時代に力を入れて行ってきた学習, 課外活動, 社会活動等を通して, あなたが果たした役割や得たことについて, 自由に記載してください。			
⑨あなたが多数の大学・学部の中から信州大学経法学部を志願した理由について, 記載してください。			

⑩現在関心を持っている経済、法律、政治等に関する社会的事柄について、あなたの考え方・意見・疑問等を述べた上で、大学でどのような勉強に取り組みたいと考えているかを記載してください。他の文章や文献を参考・引用する場合は、その出典を明記してください。

平成 28 年度信州大学経法学部推薦入試

推 薦 書

※ 受験番号							
①志望学科		②推薦型 (複数可) ※<記入上の注意>参照					
1-1. 応用経済学科 (一般推薦)		1. a	2. d	3.	4.	5.	6.
		・経 a (学業型) ・経 b (スポーツ型) ・経 c (芸術・文化型)			・経 d (資格型) ・経 e (社会活動型) ・経 f (その他型)		
1-2. 応用経済学科 (特別推薦)		・経商 (学業成績+資格)					
2. 総合法律学科		1.	2.	3.	4.	5.	6.
		・法 a (学業型) ・法 b (スポーツ型) ・法 c (芸術・文化型)			・法 d (資格型) ・法 e (社会活動型) ・法 f (その他型)		

<記入上の注意>

1. 志願者の在籍校又は出身校の長が作成した後、厳封してください。
2. ①は志望する学科を○で囲んでください。また、②は推薦型を必ず選び、該当項を「1.」に記入してください。推薦型を複数選択する場合は、アピールしたい該当項順に「1.」から記入してください。なお、②の推薦型で記入した該当項にあたる内容は、③高校生活における資格取得・課外活動実績等の欄に必ず記入してください。
3. ⑦の 5. は、「進学クラス」「国立文系コース」等校内で進学向けクラス・コース等の振分けをしている場合の所属クラス・コース名を記入してください。
4. ⑩については、募集要項の巻末参考資料 1「実績証明書類提出時の注意点」に従って、「実績証明書等添付用紙」を提出してください。
5. 既卒者の場合には、直近の予備校での模試の成績等を④に必ず記入し、成績内容を証明できる書類の写しを提出してください。
6. ※印欄は記入しないでください。

③志願者氏名	フリガナ シンシュウ タロウ	④性別	⑤生年月日			
	信州 太郎	男・女	昭和 平成	9 年	6 月	1 日 生
⑥記載者	フリガナ ナガノ サブロウ	・学級担任 ・進路指導 ・その他 ()	⑧設置	1. 国 立		
	長野 三郎	()		2. 公 立 3. 私 立		
⑦在学・ 出身学校	1. 学校名	信州大学附属信州高等学校		⑨課程	1. 全 日 制	
	2. 所在地	長野県〇〇市〇〇9-8-7			2. 定 時 制 3. 通 信 制	
	3. 電話番号	(9876) 54 - 3210		⑩学科	1. 普 通 科	
	4. 高等学校等コード (大学入試センター試験用)	9・9・9・9・9・A			2. 理 数 科 3. 農 業 科 4. 工 業 科 5. 商 業 科 6. 総 合 学 科 7. そ の 他 () 科	
	5. 所属進学クラス・コース名	特別進学コース				
⑪卒業期	平成 28 年 3 月 31 日 卒業・卒業見込					
⑫学業成績	1. 調査書記載の全体の評定平均値	全体の評定平均値 (4.8)				
	2. 直近の学力考査・校内模試等における成績席次	(2) 番 / (50) 人中 [9] 月実施 (但し [特別進学] クラス・コース内)				
	3. 学習能力に関する特記事項	文章の表現能力、語学感覚を有しており、国語については特に得意としている。				
	4. 留学等の記録	なし				

		活動種目名		チーム内での本人の役割（詳細に）
		柔道	団体 個人	
⑬ 高校生活における資格取得・課外活動実績等	1. 課外活動等 ※経 b・経 c・法 b・法 c に該当する場合は必ず記入してください。	地方大会成績		平成 27 年度長野県総合体育大会 3 回戦進出。
		全国大会成績		なし
		海外遠征他		なし
		実用英語検定		(準 1) 級 (平成 27 年 2 月取得)
	2. 取得資格等 ※経 d・法 d・経商に該当する場合は必ず記入してください。	その他英語検定試験		(検定名 () 級・点) () 年 月取得)
		日商簿記検定		() 級 () 年 月取得)
全経簿記能力検定		() 級 () 年 月取得)		
3. 社会・地域・課外活動等の実績 ※経 e・経 f・法 e・法 f に該当する場合は必ず記入してください。	情報処理技術者試験		(試験区分 () 年 月取得)	
	上記に準ずる検定・資格における実績等		日本漢字能力検定 1 級	
⑭ 卒業後の直近の成績	社会活動・地域活動等の内容と本人の役割（詳細に）		なし	
	成績等 所属予備校名 ()			
⑮ 推薦するにあたっての特記事項	1, 2 年次にはルーム長を, 3 年次には生徒会長を務めた。周囲からの人望が厚く, その場の雰囲気や和ませる人柄である。			
⑯ 備考	入学後配慮すべき既往症やその他特記事項			
	なし			

平成 27 年 11 月 1 日

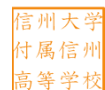
信州大学経済学部長 殿

信州大学経法学部平成 28 年度推薦入試学生募集要項に照らし, 上記の者は被推薦者として適格と認められますので, ここに推薦いたします。

学 校 名 信州大学附属信州高等学校

学校所在地 長野県〇〇市〇〇9-8-7

学校長氏名 松本 四郎



記入例

- (注意) 1. 太枠内に日付、住所、氏名等を記入してください。
 2. 郵便局(ゆうちょ銀行)を除く金融機関から振り込んでください。(ATM、パソコン、携帯電話等からの振込みは行わないでください。)
 3. 金額を訂正したもの、鉛筆書きしたもの、金融機関の収納印がないものは無効となります。
 4. 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認してください。
 5. 入学検定料納付確認書(A票)は他の出願書類とともに提出してください。

日付、氏名、住所を記入してください。
 大学への提出用となります。

A票 (大学提出用) 平成28年度 入学検定料納付確認書

依頼日	平成 ○年 ○月 ○日	学部コード		
フリガナ	シンシュウ タロウ	K	6	
志願者氏名	信州太郎			
住所	〒123-4567 長野県○○市○○1-2-3 TEL 1234 - 56 - 7890			

- 金融機関(郵便局〔ゆうちょ銀行〕を除く)の収納印がない場合は無効となります。
- 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。



下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	¥17000
----	--------

銀行
支店

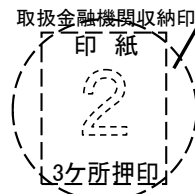
信州大学

(振込み後、自分で切り離してください。)

B票 (志願者保管用) 平成28年度 入学検定料領収書

依頼日	平成 ○年 ○月 ○日	学部コード		
志願者氏名	信州太郎	K	6	
住所	〒123-4567 長野県○○市○○1-2-3 TEL 1234 - 56 - 7890			

- (大切に保管してください)
- 振込み後、金融機関の収納印があることを確認してください。
- 金融機関(郵便局〔ゆうちょ銀行〕を除く)の収納印がない場合は無効となります。
 - 金額を訂正したもの、鉛筆書きは無効となります。



下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	¥17000	手数料	
----	--------	-----	--

銀行
支店

信州大学

日付、氏名、住所を記入してください。
 領収書ですので、本人が保管してください。

(金融機関で切り離してください。)

電信扱

平成28年度 振込依頼書 (取扱店保存)

勘定科目 ※ 日付を記入してください。

取扱金融機関へお願い

振込期間 平成27年10月26日(月)から11月6日(金)まで

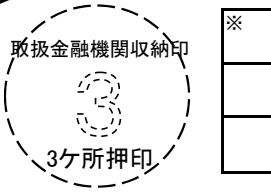
依頼日	平成 ○年 ○月 ○日	振込指定	電信扱	手数料	
受取人	振込先銀行	みずほ銀行 松本支店	普通	金額	¥17000
	口座名	コクリツダイガクハウジンシンシュウダイガク		現金	
ご依頼人	国立大学法人信州大学		内訳	当店券	
	学部コード(2桁)	志願者氏名(カタカナ)		他店券	
	K 6	シンシュウ タロウ			
	志願者氏名(漢字)	信州太郎			
住所	〒123-4567 長野県○○市○○1-2-3 TEL 1234 - 56 - 7890				

1 打電していただき。なお、姓と名の間はマス空けて打電してください。

2 学部コード(2桁)は氏名頭部に連続して打電してください。

カタカナで氏名を記入してください。

氏名、住所を記入してください。



C票

信州大学

信州大学入試情報開示請求書

平成 28 年 5 月 13 日

信州大学長 殿

請 求 者	
フリガナ	シンシュウ タロウ
氏 名	信州 太郎
現 住 所	〒 123 - 4567 長野県〇〇市〇〇1-2-3
電話番号	1234 - 56 - 7890

平成 28 年度入学試験における個人成績等について、以下のとおり開示を請求します。

試 験 成 績

選 抜 区 分	学部・学科 (課程・コース・系・専攻)	受 験 番 号
<input type="checkbox"/> 一般入試 (前期日程)	学部	
<input type="checkbox"/> 一般入試 (後期日程)	学部	
<input type="checkbox"/> AO 入試	学部	
<input checked="" type="checkbox"/> 推薦入試	経法学部 応用経済学科	K 01999Q
<input type="checkbox"/> 帰国子女入試	学部	
<input type="checkbox"/> 社会人入試	学部	
<input type="checkbox"/> 私費外国人留学生入試	学部	

調 査 書

 調 査 書 (窓口閲覧のみ) 注 4

開 示 方 法

試験成績	<input checked="" type="checkbox"/> 郵 送 注 6	調 査 書	<input type="checkbox"/> 窓口閲覧
	<input type="checkbox"/> 窓口受領		

- 注) 1. 原則、受験者本人が請求してください。
2. 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
3. 電話番号は必ず本人と連絡が取れる番号を記入してください。
4. 調査書は、客観的事実に係る記録部分のみを開示します。ただし、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」、「備考」に係る記録部分を除きます。
5. 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学の受験票を必ず添付してください。
(コピー不可)
6. 郵送を希望される場合は、返信用封筒[長形 3 号 (12cm×23.5cm)]に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留料金 (310 円) を含む 402 円分の切手を貼ったものを同封してください。
7. 受付期間は平成 28 年 5 月 1 日 (日) ~平成 28 年 5 月 31 日 (火) までとします。
※郵送の場合は、5 月 31 日 (火) までの消印有効とします。
※持参する場合の受付期間は 8 時 30 分から 17 時までとし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。

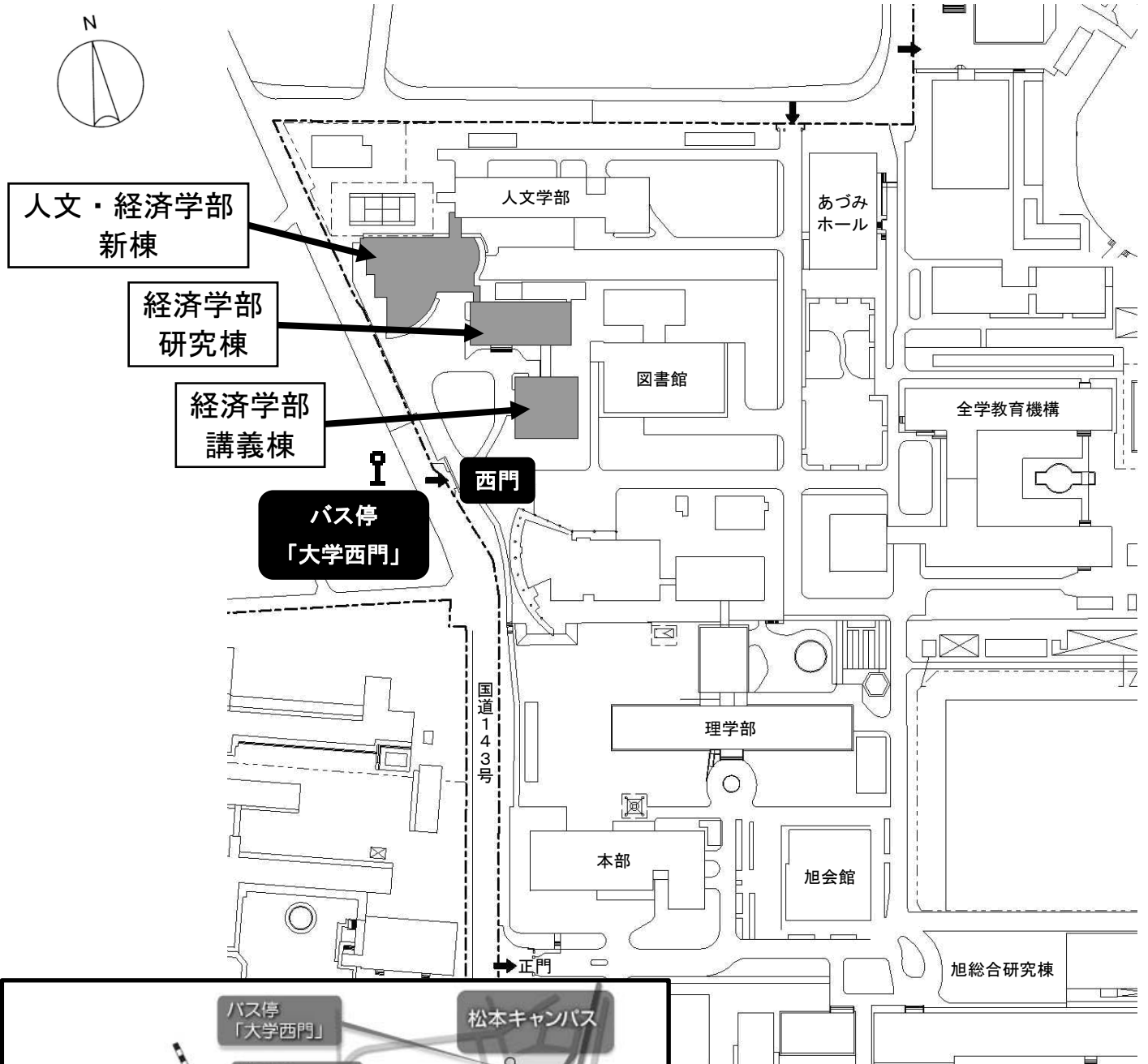
【以下は記入しないでください】

受 理 日	担 当 者	試験成績等	発送日 (受領日)	受 領 者
平成 年 月 日		試 験 成 績	平成 年 月 日	
		調 査 書	平成 年 月 日	

アクセスマップ

信州大学経済学部への交通のご案内

JR 松本駅「お城口（東口）」を出て右前方「アリオ」1階、松本バスターミナルのりば1の「信大横田循環線」又は「浅間線」に乗車、「大学西門」下車（所要時間 15分）



信州大学経済学部

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

電話 0263-37-3312 (「経法学部」問い合わせ先)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>